

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①日医エスポーツアカデミー	サッカーグラウンドに観戦用のスタンドが無い。	隣接する「いをのみ公園」に、グラウンドに向かって、芝を植えた土盛りのスタンドを作りました。高さ約70cmで、上は平ら、側面がスロープ状になっています。グラウンド内の観戦用のスペースに関する要望は滑川西地区でも出ており、更に検討します。
②東部小のプールと更衣室	プールの排水口から下水が逆流する。衛生面で良くないので、対処してほしい。また、プールの更衣室は築20年も30年も経ち、穴が開いていたり、鍵も閉まらない状態である。	なぜ排水が逆流するのか、まず専門家に見てもらい、更衣室の件も含めて対処します。
③東部小のブラウン管テレビ	各教室に、使われなくなったブラウン管テレビが置かれている。重たい代物であり、地震等で倒れたら危険である。	すぐに現場を見て対処します。
④東部小体育館	体育館の排煙設備が動かない状態である。換気のためだけでなく、火災等にも備えた設備であり、安全確保のためにも調べてほしい。	児童の安全にも関わる話であり、すぐ対処します。
⑤スポーツ・健康の森公園	子どもが夜間に陸上競技場を利用しているが、様子が見えないほど暗い。照明を増設して明るくしてほしい。	照明は当初、管理棟と器具庫付近に2基設置していましたが、現在は2基追加し、4方向から陸上競技場内を照らしています。将来的には、さらなる設置も視野にありますが、予算の都合上、早急には増やせない状況です。
⑥スポーツ・健康の森公園	陸上競技場を中学校の陸上部で午後6時過ぎまで使っているが、午後5時までしか備品を借りられない。午後6時まで貸してほしい。	事前に申請いただければ対応できるよう、調整したいと思います。
⑦早月中テニスコート	テニスコートのラインテープが所々剥がれている。また、あちこちに釘も突き出ていて、生徒が転ぶと危ない。ネットも古く、傷んでいる。	先日確認したところ、ご指摘のとおりでした。ラインテープを新調する方向で検討します。ネットや釘についても、再度、現場を確認のうえ、対処したいと思います。
⑧早月中テニスコート	テニスコートの水はけが悪い。土の入れ替えも視野に、改善してほしい。	現場を確認し、対処します。
⑨早月中サブグラウンド	サブグラウンドは、高さ約3mのネットを張って3方向を囲ってあるが、サッカーボールなどが簡単に飛び越える高さである。ボールが道路の車や人に当たったり、ボールを取りに敷地外へ出た子どもが事故に遭ったりする危険性が高いので、高くできないか。	現場を確認し、対処します。
⑩早月中山側の土留	早月中の山側の土留は、コンクリートの打ちっぱなしのため、景観が悪い。子どもに絵を描かせるアイデアが保護者の間で持ちあがっているが、所有者は市か、それとも近くの建設会社のものか。	市ではなく、近隣の建設会社が所有しています。
⑪早月中の中庭	芝がかなり傷み、剥がれた部分もある。枕木で作った階段は、草が繁茂し、ボルトがむき出しであり、生徒がケガをする危険性がある。	現場を確認し、対処します。
⑫遠征等助成事業	部活動の遠征でマイクロバスを使う際の助成は年3回までと聞いた。もっと回数を増やしてほしい。また、スポーツ少年団等でも使える制度なのか。	スポーツ少年団や部活動、各種競技団体のレンタルバス使用に際し助成する「遠征等助成事業」は、市体育協会が窓口となって実施しています。対象は20数団体あり、多くの団体が利用できるよう、「早い者勝ち」ではなく、回数制限を設けています。ただ、各団体ごとに年間の遠征回数は異なり、近年は利用率も低下しているので、回数に過度にこだわらず柔軟に対応しています。まずは体育協会へご相談ください。

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑬北加積小グラウンド	子どもが野球クラブでナイター練習をする際、グラウンドの樹木が大きく茂って照明をい遮るので、剪定してほしい。	すぐに現場を見て、対処します。ただ、学校周辺の樹木は、寄付を受けたものである場合もあるので、注意して対応します。
⑭教育現場とICT	小学校内では無線LAN(コンピュータネットワーク)の整備がどの程度進んでいるのか。また、全国的には教育現場のICT(情報通信技術)の活用が進んでいるが、本市では、教育現場でどう活用していくのか。	市立学校でのLANは、有線か無線かいずれかは繋がる状態まで整備が進みました。ICTは強化する必要があり、推進に努めています。本市が力を入れる理数教育の推進にはICT分野の教育も当然含まれ、重要であると考えます。
⑮スマートフォン等の危険性の啓発	学校配布のプリントを見ても、スマートフォンの危険性を啓発するものがない。子どもがスマートフォンや携帯ゲーム機を使って簡単にインターネットにアクセスできる時代であり、教育現場での指導をもっと強化してほしい。	中学校でのスマートフォン利用に関する啓発は、今年4月から各学校で保護者を対象に行っています。8月には市主催で、専門家を招いた保護者対象の講話を開催する予定です。児童生徒への指導啓発も進めます。
⑯食育	市民交流プラザでの「おにぎりカフェ」は、もう実施していないのか。	市食育改善推進協議会主催の「おやこふれあいおにぎりカフェ」は、和食の大切さを伝える重点事業として行われていましたが、現在は実施していません。現在では、個別の保育所や幼稚園、学校に食育サポーターが出向き、和食に関する啓発事業を行っています。ただ、カフェを惜しむ声もありますので、今後の検討課題にしたいと思います。
⑰男性の育児参加	父親の育児参加に関して、市はどのような考えを持っているのか。	女性の社会進出に伴い、子育てと仕事の両立に悩む女性が増えています。男性の育児参画推進が少子化対策にも役立つと考え、保育所で「父親が園児と一緒に料理を作ったり、保育参観したりする「パパ出番ですよ」を実施したり、子育て支援センターで父親を対象にしたイベントを開催するなど、男性の育児参加を推進する事業を展開しています。児童館での「イクメン」講座開催も検討しています。小学校以降の育児参加をカバーする事業が無いため、今後の課題です。
⑱ゴミの分別	学校現場では、ゴミの分別をどのように教育しているのか。	4年生の社会科では、ゴミの分別やクリーンセンターの仕組み等、ゴミに関する学習をします。学校生活でも分別を指導し、ペットボトル回収等にも取り組みます。土曜授業でも環境学習の一環で教えます。また、ゴミの分別に関する「心得手帳」を4月に改定したところであり、ご家庭での教育等に活用していただきたいと思います。
⑲子育て支援・少子化対策	多子世帯に対する援助は、子どもが幼い頃は比較的手厚いが、大きくなるにつれて支援が手薄になる。日頃の食費、旅行等の宿泊費等、様々な場面で多子世帯は経済的負担が大きい。生活水準を下げたくないため「子どもは1人で充分」という人も多い。本格的な少子化対策のためにも、経済的負担を軽減する施策を求める。	滑川市の人口は、このまま手を打たなければ、25年後の2040年には2万7千人、2060年には2万1千人と、現在の約3万4千人から大きく減少すると試算されています。持続可能なまちづくりのためにも、多子世帯の経済的負担を軽減する施策を実施できるように頑張ります。
⑳道路規制標識	東部小体育館裏の住宅団地の道は、児童の送迎のほか、スピードを出して通り抜ける車も多く、ヒヤリとする場面を何度か見ている。「止まれ」の規制標識を設置するなど対処が必要である。	標識の設置には、警察への要望が必要です。現場を確認しますので、どこに設置すべきであるかなど、詳しくお話をお聞かせください。
㉑通学路	法花寺から稲泉新を通る北加積小の通学路は、歩道も路側帯も無く、子ども達が車にあおられながら歩いている。また、このルートは用水の横を歩くが、柵の幅が大きく、足元が悪い降雪時などは特に危険である。	この道路については、地域からの要望もあり、整備する方向で検討しています。